

令和5年度 学校評価報告書

学校番号(高1) 長崎市立長崎商業高等学校

1 教育目標

人格の完成をめざし、教養豊かで有為な産業人を育成する。

2 学校経営方針

- (1) 真理と平和を愛する態度を育み、友愛互助の精神を涵養する。
- (2) よりよき社会人として、責任を重んじ知性と教養を高める気風を養う。
- (3) 産業人として基本的な資質の向上に努めるとともに、社会の一員としてその発展に貢献する態度を養成する。
- (4) 国際的視野に立つ調和のとれた社会性と心豊かな人間性の育成に努める。

3 重点目標

- (1) 一流のあいさつと長商スマイルの実践を通して、グローバル人材の育成を目指す。
- (2) 大学・専門学校・行政・一般企業などと連携を深め、特色ある進路実現を目指す。
- (3) 服務規律の確保と働きやすい職場環境づくりの推進を図り、教職員の同僚性を高める。
- (4) 学校・保護者・同窓会・地域が一体となった教育活動の展開と広報活動の充実を図る。
- (5) 学校の情報化と情報セキュリティ対策の推進を図り、校務の効率化を目指す。

4 自己評価

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児 童 生 徒	保護者	教職員	
学校経営	教 育 目 標	教育目標を達成している		95	82	学校評価(中間・最終)を通して、教育目標の確認や教科・分掌・学年目標のチェックを行っている。学校評議員会での意見を参考に、職員会議等で目標達成への努力を求めた。
	学 校 の 雰 囲 気	明るく楽しい雰囲気である	99	99	98	
	組 織 運 営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			74	
	業 務 の 改 善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			87	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	99	97	91	挨拶・マナーアップ運動や容儀指導を実施し、規範意識の向上と将来の社会生活を目指した生活指導を実施している。コロナ規制緩和後、学校行事等を通して、挨拶の励行が向上した。 アンケートを実施して生徒の実態を把握し、必要に応じて関係機関と連携しながら親身に対応している。 ウクライナ国花の「ひまわり」で生徒玄関を彩り、被爆体験者の講話を実施するなど、平和を願う気持ちを共有した。
		挨拶をよくしている	97	95	98	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	96	85	93	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	95	85	96	
	人 権 教 育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	99	97	98	
	平 和 教 育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	99	90	87	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている		87	96	
確かな学力	特 色 あ る 学 校 づ く り	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	98	94	89	卒業生全商検定3種目以上1級取得者数が本校過去2番目に多い132名となり、速報値で全国14位(本校過去最高)、10年連続で本県1位を達成した。 1年生で地域の多様な職種の事業者から学ぶ行事や2年生で地域を歩き再発見する行事、3年生で地域の歴史を学び、卓袱料理を体験する行事を実施した。
	学 習 指 導 ・ 教 育 課 程	わかりやすい授業を行っている	92	76	98	
		家庭学習の習慣が身に付いている	66	60	80	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	97	90	100	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	96			

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	96	91	89	本校では、K(換気)・K(間隔)・T(手洗い)を掲げて感染拡大防止に努め、学校規模の割に、感染症罹患患者や学級閉鎖を最小限に抑えることができた。各種行事もコロナ禍以前に近い実施計画で行われ、生徒の意欲的な活動が見られた。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	90	76	96	
		体力向上に努めている	79	79	89	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	77	82	78	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	97	90	100	バス通学者が8割で通学範囲も広いため、台風や雪等の影響がある場合は、早めの下校や臨時休業の措置を講じ、生徒の安全確保に努めた。 学校HPやメールメイト、Teams等を活用して、学校情報の積極的な発信に努めた。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	96	90	98	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている		96	98	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			91	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	96	91	98	タブレットPCを活用したアンケートや課題提出など、環境整備により、業務改善が進んでいる。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			98	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

部活動では、ソフトボール女子が県高総体3連覇し、ソフトテニス女子が県高総体団体12年ぶりに優勝した。その他の部活動では、陸上、卓球、水泳、商業クラブ、放送、ワープロ、珠算の各種競技において上位大会(全国大会・九州大会)へ出場し、生徒の健全育成と学校活性化に好影響を与えた。放送部と美術部では、次年度の全国総文祭出場権を得ることができた。

また、本校の特色の一つである資格取得においては、卒業生232名に対して132名(56.9%)が1級を三種目以上取得し、全国14位(九州2位、長崎県10年連続1位)の成果をあげ、生徒の学習意欲や進路実現の土台となっている。

【生徒アンケート結果】

- ・あいさつや笑顔が増えた。学校行事への満足度も高い。家庭学習への取り組みの意識が課題である。

【保護者アンケート結果】

- ・資格取得や部活動の充実、長商へ入学させたことについて、保護者の評価が高かった。
- ・家庭学習習慣についての評価が低く、取り組みの改善が必要である。

6 学校関係者評価

- ・スポーツビジネスコースの設置など、他の高校にはない特色あるコースを設けており、意欲を感じます。
- ・新学科やコースについて、1年次から何か成果物の作成に取り組み、どこかの時点で発表会や報告会等、メディアを使って学校広報になることも考えていけたらよいのではないか。
- ・学校が掲げる大、中、小目標について、まず生徒自身がよく理解し、主体的に実践できるように明示していく必要があると思います。
- ・生徒や保護者のアンケートは、とても評価が高いと思う。そして、良い点や悪い点を率直に書いているのは、生徒と教師、学校と保護者の対話がしっかりできているからだと思う。それらを真摯に取り組むことで、さらにお互いの信頼関係は深まると思います。
- ・同窓会でもホームページやSNSを活用している。学校の協力を得て、生徒の取り組みや活躍の画像など、積極的に情報発信していきたい。令和7年度の140周年記念に向けても協力して取り組みたい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・携帯電話への依存が高まるにつれて、家庭学習時間や睡眠時間が確保されない傾向にある。また、SNSに関するトラブルも懸念される。学校と家庭で連携を密にしながら、学校や家庭でのルールと生徒にとって有益な使い方について、入学時やPTA総会、保護者面談等で説明し共有していく。
- ・学科改編後の特色ある活動や新たな取り組みについて、地域や関係機関と連携しながら磨き上げていくとともに、高校入試志願者の志願倍率増に繋がる広報活動を組織的に行っていく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。